





ディアナ・柊





ディアナ。終は、ある決意をして電車に乗り込んだ。

乳房や臀部が丸出しになった痴女のような格好をして、痴漢電車として有名な車両に。

社長夫人として何不自由無い生活を送っていたディアナ。

旦那の会社も軌道に乗り順風満帆、子宝にも恵まれた。そんな生活の中で、ただひとつ満たされない物があった、それは彼女自身の性欲であった。

忙しい夫に自分の欲求不満のせいでわざわざ時間を取らせることに申し訳無さを感じていて、自分二人で慰める日々が続いていた。

だがいくら自分の手で秘部を弄り回そうが欲求が満たされることはなかった。

男性に対する肉欲

いつしか見ず知らずの男達に全身を弄ばれる妄想をするようになっていた。

旦那以外の男性とみだらなことをするなんて！

そう思いつつ妄想は止められなかった。いけないことをしているとさえ思えば思うほど膨れ上がる男性の肉体への欲求

悩んだ末に彼女は、今日覚悟を決めこの車両に乗り込んだ――

ディアナが電車に乗り込むと同時に
またたく間に群がりだす男達。

男たちの力強い腕で乳房を揉まれ、
尻を揉みじだかれ甘い声が漏れ初めた。

久しく感じていなかった男性から
女として求められる快感、もちろん悪い気はしなかった。
拒絶せずに男達の腕に身を委ねるディアナ。

そこに男達の固く大きくなった男性器が押し当てられる。

はっ
あっ
はっ

もみっ

もみっ

もみっ

もみっ



や…止めてください！

はあ？今更何いってんだあんた？

気持ちよさそうな顔しながら俺らに身体触らせてたじゃねえかよ！

触るのまでいいですけど…
その…オチンチンはしまってください…

自分は気持ちよくなるけど俺らは駄目ってか？
随分都合の良い話だなオイッ！

そう言いながらグイグイと男性器を押し付ける男達

もじ

もじ



そんなに気持ちよくなりたいのなら
お望み通りイキ狂わせてやるよ!

やつこんな!♡
はげし!♡あっあっあっ♡

下品な乳輪しやがつてよ
ドスケベの塊じゃねえかよオイッ!

やあ!♡そんなこと...言わないでえ♡

ほらほらっ気持ちいいだろ変態おばさんよ
無様なイキ顔晒しちまえ!

男の手がより速くより強くディアナの
女性器を乱暴に刺激する



それじゃあ今度は俺らの番だな
ほらっよろしくな!

そう言う、と男たちはディアナの
目の前に男性器を突き立てる

あっ...
(大きい...夫のよりも全然...)

うっ...

ディアナは恥ずかしさに包まれる
男性器に夢中になってしまった自分と
無意識に夫と比べてしまっていたことにも

ハア

ハア

むわっ

むわっ

ハハハッチンポガン見してんじゃんw
なりにおちんちは止めて♡だよw

おぼこぶってんじゃねえぞおぼさんがよ
痴漢されるために痴女みてえな格好してるくせによ

タンクトップもちゃんと着ろよ
俺はズリ穴越しにパイズリさせんのが
好きなんだからよw

それじゃあご奉仕よろしくな
チンポ大好きおぼさんよw

んっ…じゅぷ…

ディアナの口内に
男性器の味が広がる

(臭い…苦い…)

汗で蒸れたキツイ刺激臭に
小便やチンカスの混ざった悪臭

シク

シク

ビーン

んっ…

ジク

ジク

ドリ

ドリ

(こんな酷い臭い初めて…)

初めて嗅ぐ匂いに戸惑いもあるが
ディアナは興奮もしていた

(こんな臭くて最低な匂いなのに…
なんでだろう身体が疼いてしまう…♡)

ジュボジュブ…んっ!!
げほっ!!おえっ!!

おぞましい匂いを放つ男性器の
匂いに思わず嘔吐してしまう

性体験が久しぶりだったのもあるのだろう
男達の余りにも強い雄としての匂いに
ディアナの頭は完全に支配されていた

んっ♡じゅぽ♡じゅぽ♡
じゅるる♡

おっ！いきなりバキュームで
吸い付いてきたよコイツ

ジボボッ♡

んっ♡

んっ♡

本性表しやがったな
思った通りのドスケベ女だぜコイツ
そんなん見れば分かるってのw

ズルッ
グズルルルッ♡

ズルッ

ズルッ

たゅん♡

たゅん♡

(酷いそんなこと…でも…
本当のことだからしょうが…ないわよね♡)
そう言いながら股間に手をのぼす
ディアナ
全身チンポに奉仕しながら
自らも快楽を貪りだした

あっヤッベエ…もう出るわ
全部飲み干せよ！

ふあい♡わらひのお口に精液
ぜいんぶ出してくらはい…♡

ぐわっ♡

ぐわっ♡

あっ♡くぅ…♡ううっ♡

ディアナの全身は男達の
精液で染まる

♡♡♡♡♡

(あっ♡すごい…♡私の身体…
全身チンポと同じ匂いになってる…♡)

♡♡♡♡♡

鼻腔に広がる精液の匂い
にうっとりとしながら

口内に出された精液を飲み干すディアナ

んっ♡じゅる♡
じゅる♡じゅる♡

はありやつべ悔しいけど
スゲー気持ちよかったわ…

オイッ！ちゃんと飲み干したか？

ふあい♡

ビュルッ

ハッ♡

ゴッ♡

パイ♡

ハッ♡

先程まで精液でパンパンに膨れていた
口の中をディアナは得意げに開け
精液を飲み干したことを証明する

ははっアバズレ女にふさわしい
精液くっせえ身体になったな！

バカにした俺らよりも
よっぽどくせえぜアンタ

そんなもん飲み干すとか人として終わってんなw

男達のなじりも今のディアナには
興奮するための道具にしかない

はいつ♡私ディアナ・柊は喋るたびに
精液の匂いを撒き散らす人として
終わっ♡てゐる女です…♡

どうか下のお口にも精液お恵みください…♡

ウチ♡

ウチ♡

それじゃあお望み通り
チンポ恵んでやるとするか

待って…やっぱりこっちにちょうだい♡

フ♡

フ♡

スリ
スリ

はっ♡

はっ♡

ケツ穴を両手で拡げ男達に媚びるように
ケツをフリフリと揺らすディアナ

あゝアナルセックスだあ？

お願い…私こっちなじゃないと
興奮できないの♡

ハハッアバズレビッチ女に
ふさわしい変態女だな！
良い機会だわケツ穴にハメてやるよ！

んっ♡くう♡んんっ♡♡♡

待ち望んでいたチンポを挿れられた
だけで軽くイッテしまうディアナ

うっわ本当にケツ穴で感じてるよコイツw
お前の身体に弱くないところはないのかよw

ズッ
フゥウウ

ビッ

ビッ

おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡

パッ

アナルでしか感じないと言ったのは
オマンコで生ハメセックスするのは
危険すぎると咄嗟についたディアナの嘘である
アナルセックスも今回が初めてであった

パッ

だが全身が性感帯のように敏感になってる
ディアナにとって初めてでも関係ない
未知の快楽が全身に駆け巡る

知らない…!こんな…!♡
気持ちよすぎ…♡

お尻の未知の快感と
男の大きな男性器にのめり込むディアナ

もっと…もっと!
オチンポついて…♡♡♡

パンッ

くそっこんなクソ穴で
イッちまうなんて屈辱だわ…!

そう言いながらも男の腰の動きは
どんどんと速くなる

なんだよこの穴…めちやくちや
絡みついて来やがる…!

あっ♡あっ♡そのまま…♡出して
私のお尻の穴にあなたの
ザーメン♡たくさん♡♡♡

あっっお望み通りくれてやる…!

パンッ

うっ……くう……
あり出た出た……

ケツ穴にぶち込んだのは
初めてだったけどよお
案外悪くなかったわ

ズル

はっ

ズ

ハハツケツ穴でイクとかになっさけねえ
俺はマンコを使わせてもらうぜって

はっ

ズ

あつあの……お願いします……
またこちらにチンポぶち込んでください……♡

皆様のデカチンポでケツ穴ほじられるの
大好きなんです♡どうか……どうか♡
私のケツ穴みなさんのデカチンポ
サイズに拡張してください……♡

他の男たちにも媚びるよう懇願するディアナ

そのケツ穴はチンポから精液を搾り取るうと
艶かしくヒクつかせていた

ボッ

ボッ

ガッ

……たくつ仕方ねえな
ケツ穴狂いのババアがよ
ガバガバになるまで使つて
やるから下の心配でもしとけ！

は……♡はいい……♡

ガッ

お望み通りケツ穴ガバガバに
してやったんだからよもう満足しただろ
今度はこっち使わせてもらうぜ

あっ♡

はあ♡

はあ♡

屈強な男がディアナを
羽交い締めするような形で持ち上げ
大きな男性器を突きつける

おっきい!!!♡

ディアナもその人並み外れた大きなサイズに
感嘆の声を漏らす

ドオ♡

ドオ♡

理由をつけて本番セックスだけは
拒否し続けたディアナもこれには愛液を漏らし
自然と自らの手でオマンコを拡げていた

お願いします!!!♡その大きなオチンポで
私のオマンコ奥まで犯し尽くしてください!!!♡

もうディアナに正常な判断力はなく
ただチンポでオマンコを犯してもらうことで
頭がいっぱいになっていた

バキッ

バキッ

オマンコ肉がひしゃげる
ほどの男性器がディアナの身体を貫く

おおっ
おっ

あっ♡おっほお♡
こ…こんなの知らない…っ♡

デカチンポ気持ちいいのおおおっ♡
私のオマンコもっとほじくってくださいいっ♡

ディアナの口から下品な言葉が次々と漏れる。久しぶりの旦那以外の本番セックス。その快楽はディアナの想像以上のものであった。

おっポオ♡おっポオ♡おっポオ♡おっポオ♡
チンポ♡チンポ♡気持ちいい♡気持ちいい♡

下品な言葉を叫ぶ度に脳が痺れるような
 快楽が駆け巡る普段抑圧されていた性欲が
 チンポを挿れられたことで一気に爆発した

**ズ
ブ
わ
わ
!!**

ブ...

氏名

こんなこんな気持ちいいの♡
初めてなのおっ♡♡♡

素敵なデカチンポお恵みいただいて
ありがとうございます♡♡

は い い い い い い い い い い
本 当 だ っ た ん で す
挿 入 っ た ん で す
は い い い い い い い い い い
本 当 だ っ た ん で す
挿 入 っ た ん で す

あーあー
おーおー

おん
ほお

大きいチンポなら
誰でも良かった♡

雄として立派なオチンポで
めちゃくちやに
されたかったんですぅっ♡

セックスもしてくれない夫じゃ満足できなかった♡
私は一日中チンポをしゃぶって♡チンポをハメて♡
チンポからたっくさんの精子を射精させることに♡
喜びを覚える！チンポの奴隷なんです♡

うっわぶっちゃけたなちよっと引くわ
こんな変態世の中にいるんだな

はいっ私は変態です♡セックス中毒のド変態です♡
こんな変態が人様の世界で生きていてすみませんっ♡♡♡

このまま膣内に出してください♡受精してください♡
孕ませてください♡♡♡

それが私の喜びなんです！♡♡♡

ハッ!

アッ!

はいっ 認知なんてしなくても大丈夫ですから♡
このまま精子私のオマンコでコキ捨ててくださいっ♡♡

ドクダミ

うっわ…母乳吹き出してるよ
人妻だったっての本当なんだなコイツ…

無様なアへ顔晒しちゃってまあ
妊娠したらセックスストレスの旦那によろしくな！
言い訳頑張って！

妊娠するまでこれからも犯してやるから
明日もまた来いよエロババア！

男たちから投げつけられる言葉の暴力が
ディアナにとつてはとても心地よかった。

どうこわ

なに不自由無い生活を送っていた自分が
今日から間違いなく人としての道を外れてしまう…
一時の快楽のために今まで手に入れた物
全てを手放すことになるだろう。

マトモな人生にはもどれない…
そんなことを考えながら
これからの自分の境遇を想像すると
子宮が疼きだし愛液がまた溢れ出した。





































